

**答** 住宅宿泊事業法の制定趣旨や、法に業務の適正な運営を確保する方策が種々規定されていることなどを総合的に勘案し、新たな条例の制定は予定していない。市民や事業者は法の趣旨を理解してもらえよう努め、無許可営業に対しては県警とも連携し適切に対応する。

**問** 少子化対策の一つとして不妊治療に対する支援の充実を自

**答** 少子高齢社会を迎える中、少子化対策にこれまで以上に取り組まなければならない。保険適用外の人工授精に対して本市独自の助成を行ったり、不妊治療の課題を発見し、不妊専門相談センターにおいていろいろなデータを蓄積し、より充実した施策へつなげていったりすべきと考えるが所見を。

**問** 不妊に対する支援は大変重要であり、特定不妊治療費への助成に加え、不妊専門相談センターを設置し、不妊に関する相談対応や、不妊治療に関する知識の普及啓発に努めている。人工授精に対する独自助成については効果や他都市の状況を見ながら検討する。

**問** がんの発見率を上げるため有効な検査への助成拡大を

**答** 病気の早期発見には、がん検診、健康診断が有効であるが、本市のがん検診は、現状の検査項目だけで、果たして病気の早期発見につながるのか。がんの発見率を上げるため、肺CT検査や脳ドック、人間ドックなど、有効と思われる検査については、助成を拡大する必要があると思いが所見を。

**問** 本市は、会社等で検診を受ける機会のない人を対象に、

**答** 国が定めた5つのがん検診と、本市独自の前立腺がん検診を実施している。国や他都市の状況を踏まえて、医師会等とも連携し、より効果的な手法について調査研究を進めるなど、がん対策の推進を図る。

**問** 松島小学校は、校区人口が増加の一途をたどっており、今後

**答** 松島小学校は、今後の児童数を考慮しても、現在の教室数で対応できると考えるが、九大箱崎キャンパス跡地のまちづくりの進展状況も見据えて、周辺校区全体で教育環境の充実が図られるよう、議員の意見も参考にしながら、引き続き検討を進める。

**問** 待機児童の解消に向けた保育士確保の取り組み成果と課題は

**答** 保育所等の児童の受け入れは、現在でも基準を満たせば定員の2割増まで可能である。既存の保育所が保育士を追加確保できれば、多くの児童を受け入れることができ、待機児童の解消につながる。保育士・保育所支援センターの設置など本市の保育士確保の取り組みの成果と、今後の課題を問う。

**問** 保育士の人材確保は、センターでのあつせんなどさまざまな支援を行っている。今年度は、保育士を対象とした家賃の一部助成や、インターネット特設ページの開設など、潜在保育士の就職促進のための新たな広報を実施しており、今後とも保育士の確保に取り組む。

**問** 中学生のかばんの重さを軽減するため必要な対応を

**答** 成長著しい中学生の時期は、身体にとつて大切な時期であるにもかかわらず、毎日重いかばんを背負って登校することは、成長を阻害する可能性がある。解決すべき課題と感じており、中学生のかばんの重さを軽減することについて、何か対応が必要ではないかと思いが所見を。

**問** 中学生のかばんの重さを軽減することについては、7月に全中学校長に対し、生徒が通学時に持ち運ぶ学習用具を精選するよう指導している。今後、校長会と教育委員会による検討チームを立ち上げ、通学かばんの改良をはじめ、可能な対策を検討していく。

**問** あゆみ学園を南部療育センターとして再整備を

**答** あゆみ学園は、築44年が経過し、施設は増設や改修により、日常的な療育活動は施設職員員の努力により、必要な機能を維持してきたが、限界に近づいている。相談・診断機能を加えて、本市南部地域の障がい児支援の拠点となる南部療育センターとして整備する必要があると思いが所見を。

**問** あゆみ学園を活用した再整備は、アセットマネジメントの観点から既存施設を有効活用する必要があり、建て替えや移転改築には敷地確保の課題がある。南部地域の療育環境整備、特に相談・診断機能を強化する必要もあり、さまざま

な角度から総合的に検討する。障がいの者の雇用促進のため本市も認定基準を設けるべきでは

**問** 障がいの者の雇用促進のため、本市も、障がいの者を多く雇用している特例子会社や、重度障がい者多数雇用事業所などについて、認定基準を設けて随意契約の対象とすることができるとすべき。雇用を引き上げ、自立を目指すことが大切であり、ユニバーサル都市・福岡の実現に向けた決意を問う。

**問** 障がいの者の雇用を促進するために、認定基準の制定

**答** 障がいの者の雇用を促進するために、認定基準の制定も一つの手法と思われるが、他都市の状況も踏まえ、効果的な手法を検討する。今後も、雇用が拡充され、社会参加が一層促進されることで、ユニバーサル都市・福岡が実現されるよう取り組む。

**問** 学校施設の木造化・木質化推進のためガイドラインの策定を

**答** 学校施設の木造化・木質化の推進は、本市の林業・林産物を活性化させるための重要な戦略の一つである。さまざまな課題はあるが、横浜市では公共建築物における木材の利用の促進に関するガイドラインを策定しており、本市も、実現に向けての努力を重ねていくべきだと考えるが所見を。

**問** 学校施設の木造化について

**答** は、建築基準法等の制約を踏まえつつコスト面の課題等を整理する必要があり、木質化については、豊かな教育環境となるよう、できる限り取り組む。他都市の実態調査や木材利用の手法の研究を行い、木材利用の促進を図る。

地産地消の観点からも学校給食で市内産魚介類の提供を

**問** 魚食普及のためにはさらに市民に浸透するよう具体的な取り組みが必要であり、市場活性化のためには消費拡大が急務で



鮮魚市場で行われる青魚のせりの様子

**答** ある。特に子どもの頃から地元のおいしい魚に慣れ親しむことが求められ、地産地消の観点からも、市内産の魚介類の学校給食での提供をぜひ進めてほしいと思いが所見を。

**問** 地元で水揚げされた魚を、地産地消としてだけでなく、郷土料理として学校給食に提供することで、児童・生徒に、より身近に地元の豊かな自然の恵みを実感させるとともに、魚のおいしさや栄養についてしっかりと教育していく。

**問** 福岡トリエンナーレについて、2020年に本市独自の文化芸術の魅力を発信するのであれば、これまでの取り組みを再評価し、国際美術祭とするならば明確な方向性と目標を掲げ、その内容は議会で報告し市民に説明すべきである。文化芸術の振興による心豊かで活力あるまちづくりをどう進めていくのか所見を。

**問** 福岡トリエンナーレについて、2020年に本市独自の文化芸術の魅力を発信するのであれば、これまでの取り組みを再評価し、国際美術祭とするならば明確な方向性と目標を掲げ、その内容は議会で報告し市民に説明すべきである。文化芸術の振興による心豊かで活力あるまちづくりをどう進めていくのか所見を。

福岡トリエンナーレの再検証は、福岡市文化芸術振興ビジョンの改定を進める中で報告書として取りまとめ、説明する。文化芸術は市民の心豊かな生活の礎となり、魅力ある都市づくりを形成する上でも大変重要であり、さらなる文化芸術を生かしたまちづくりに取り組む。

**問** 政府の働き方改革実現会議は、長時間労働や正規雇用労働者と非正規雇用労働者との格差の是正、子育て・介護と仕事の両立等に向けた実行計画を決定した。本市も、ふくおか「働き方改革」推進企業認定事業を発表したが、実効性ある働き方改革とするため、より多くの事業者にも広げるべきではないか。

**答** 本事業は、働き方改革の取り組みの結果、働きやすく、魅力ある企業になることを目的とし、それによって従業員の満足度や定着率の向上、企業のイメージアップや人材確保に資すると考える。より多くの企業が取り組むよう、啓発と周知に努め、事業を推進していく。

**このほかの主な質問**

- 地下鉄七隈線延伸工事陥没事故について
- 障がい児・者のスポーツ振興について
- 土砂災害警戒区域の指定について
- 赤坂小学校・草ヶ江小学校の施設改善について
- 民泊の現状及び住宅宿泊事業法について
- いじめ・不登校対策について
- 障がい者差別解消条例の原案について
- スタートアップ支援について